演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

1. 授業の概要（ねらい）

取締役会の「内部統制」システム構築責任は、会社法第362条（取締役会の権限等）において明示されている。そして、この「内部統制」は、リスクベースの経営管理手法としても捉えることができる。この演習の秋期では、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書、事業報告書等の主要開示資料を教材とした事例研究、グループ課題と個人課題の報告、及びディスカッションを通じて「内部統制」の理解を深める。

2. 授業の到達目標

「内部統制」に関わる理論と実務を体系的に把握すると同時に、プレゼンテーションとディスカッションの手法を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

テキスト等の要約報告書、企業検討表、事例研究報告書、及びディスカッションへの貢献度を総合的に評価する。尚、5回を超えて欠席した者は成績評価の対象外とする。

4. 教科書・参考文献

教科書
齋藤・蟹江　『現代の内部監査』2017年　放送大学教育振興会
参考文献
町田 祥弘著　『日経文庫 内部統制の知識＜第3版＞ 新書』2015年　日本経済新聞出版社
堀江 貞之著　『コーポレートガバナンス・コード（日経文庫）新書』2015年　日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

毎回の具体的な準備学修内容は講義ノートおよび課題として事前にLMSに掲載するので、受講するまでに教科書と講義ノートを参考にして課題を完成させておくこと。

6. その他履修上の注意事項

LMSを有効活用するため、パソコン及びインターネットの環境を整備しておくこと。おもしろおかしく（Joy & Fun）学習できるように、教員と共に工夫しよう。また、演習では、学生相互の人間関係も重要である。お互いに切磋琢磨する中で、生涯の友を得るように努めること。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス：ゼミ活動の進め方。
【第2回】　1.内部統制の課題について
【第3回】　内部統制の課題に関わる要約報告（1）：会社法と金融商品取引法における内部統制の統合
【第4回】　内部統制の課題に関わる要約報告（2）：開示すべき重要な不備の報告状況
【第5回】　内部統制の課題に関わる要約報告（3）：内部統制報告制度の効率化・負担軽減策の影響
【第6回】　事例研究1（株）ローソンの内部統制の課題
【第7回】　2.参考書「コーポレートガバナンス・コード（日経文庫）新書」の見方
【第8回】　コーポレートガバナンス・コードに関わる要約報告（1）：構成と開示
【第9回】　コーポレートガバナンス・コードに関わる要約報告（2）：企業はどのように対応するべきか
【第10回】　コーポレートガバナンス・コードに関わる要約報告（3）：上場企業に期待されること
【第11回】　3.日本型コーポレートガバナンスについて。事例研究1（株）ローソンの企業検討表の作成
【第12回】　（株）ローソンの開示資料の見方
【第13回】　外部講師招聘：（株）ローソン常勤監査役「（株）ローソンのコーポレートガバナンスについて」
【第14回】　事例研究2 フランスベッド（株）の企業検討表の作成
【第15回】　事例研究3 日本電気（株）の企業検討表の作成